

当市のスポーツ政策と 企業誘致について

斉藤 貢一 議員

質問 大きなスポーツ大会

のほとんどは県中央部や太田市で開催されることから、保護者や選手には金銭的、労力的に負担がかかります。また、競技力向上のためにも、目の前でお手本となるプレーを見せることが大事であることから、スポーツ大会を誘致する考えについて

て伺います。

スポーツ振興にとつては方向性を持つことが重要ですが、あかぎ国体の整備以降時間が止まっているのではないかと思われる当市のスポーツ行政を打破するため、スポーツ審議会を設置することや、他市との差別化を図るためにも、スポー

ツ振興課と文化振興課を館林市の文化・スポーツ振興に特化させた文化スポーツ部として教育委員会より切り離してスタートさせられないか、伺います。

次に、県のバックアップ機能誘致政策については、大規模災害に備え、東京圏の企業や行政機関を、災害の少ない県内に誘致しようとする政策ですが、物理的に企業誘致が難しい状況にある当市としては、環境に優しく住み易い街と捉えて

もらい、職住分離による住環境の整備をすることで差別化を図る考えがあるか、伺います。

答 大会誘致に関しては、関係機関や団体と協議しながら検討したいと思います。スポーツ審議会については、現段階ではスポーツ懇話会が設置されているため考えておりませんが、関係団体等の意見を参考にしながら検討してまいります。文化スポーツ部に関しては、7年前に市議会において否決

された経緯もあり、当面は教育委員会所管により関係各課と横断的な連携を図りながら総合的なスポーツ振興を図ってまいります。また、企業誘致については、民間とも力を合わせ本市の魅力を紹介してまいります。

要望 スポーツの楽しみは「生きがいづくり」に通じるものがあり、それは、高齢者、障がい者にとつても同じです。是非、他市との差別化を図った街づくりを要望いたします。

道路交通法の改正 いじめ問題・婚活について

向井 誠 議員

いじめ問題について

質問 9月に「いじめ防止対策推進法」が施行されましたが、各学校の対応についてお尋ねします。

答 本法では学校での「いじめ防止基本方針」の策定を義務づけており、現在その準備を進めています。各学校では「生徒指導」や

「教育相談」等の部会を置き、緊密な情報交換を行い、問題発生時には内容の詳細な把握とともに早期解決に向けて取り組んでおります。

また、弁護士に中立的な立場から示唆をいただくなど、いじめ問題解決に向けて日頃から関係機関と連携を図り、早期発見・早期対応に

向けて組織的な対応を行ってまいります。

改正道路交通法について

質問 12月1日の道路交通法の改正に伴い、自転車に

対する罰則等も厳しくなりましたが、改正による対応等についてお尋ねします。

答 小中学校では、これまでも自転車の交通ルールの徹底について繰り返し指導を行ってきましたが、今回の改正に伴い、県警作成の改正道路交通法啓発チラシを配付して説明していく

際に、自転車利用者も加害者となり得ること、莫大な損害賠償が必要となり、家族にも多大な影響を与えること等について改めて指導するとともに、保護者に対しても周知してまいります。

また、本市の自転車が関与する事故は、本年11月末で全体の19.2%を占めていることから、警察を初め交通安全協会や地域等関係機関と連携し、幅広い年齢層に対し交通ルールの遵守と正しい運転マナーを啓発

するとともに、自転車は車両であり、罰則や多額な損害賠償責任が生じること等の周知を図ってまいります。

婚活について

質問 他市と同様に、本市でも婚活を推進する考えについてお尋ねします。

答 本市でも結婚相談員を設置し推進を図ってきましたが、今後も、ぐんま赤い糸プロジェクト事業を初め、他の機関と連携を密にし、出会いの場の紹介やPR活動に努めてまいります。